

# レジデンス便り 第227号

発行：レジデンス日進家族会

## バスハイクがスタートしました 安城産業公園デンパーク

随分前にバスハイクで「モクモク手づくりファーム」に行った際に、ソーセージづくり企画がありました。

それ以来、バスハイクの時季が近づくと「ソーセージ、ソーセージ」とおっしゃる利用者の粘り強い要望にお応えして、デンパークにソーセージづくり体験に行ってきました。



現地に到着してすぐに集合写真を撮り、昼食場所に向かいました。



押し寿司にかぼちゃとごぼうの煮物、ひじき、から揚げ、卵焼きなどがきれいに盛り付けられた美味しいお食事でした。



最初にスタッフのお話を聞き、説明どおりにお肉をしっかりと練り、押し出す機械に入れて腸詰めしました。



何よりの楽しみは、作りたてのソーセージをボイルしての試食です。結構な量があったので、お持ち帰り分をお留守番の利用者と職員もいただきました。

やはり市販のものとは違い、少しあっさりとした食感で美味しかったです。



## 蒲郡ファンタジー館と竹島水族館

デイサービス1Fの利用者が中心のメンバー構成でしたので、のんびりと海の生き物を見て回るという企画でした。

昼食は、給食での提供がむずかしいマグロの漬け丼をいただきました。丼だけでは寂しいかな？ということもあり、ちょっと贅沢にエビフライを付けてもらいました。

さらにお店からのサービスで茶碗蒸しも付いていたので豪華な感じでした。



半熟たまごがトッピングされていてマグロの漬け丼が美味しそうでしたが、利用者の皆さんにはタルタルソースの付いたエビフライが魅力的だったようです。



ファンタジー館は全てのものが貝殻を利用して造られていました。手づくり感たっぷりで、昭和の匂いがしましたが、なんとなく興味を引かれるものがありました。



水族館は展示の仕方が工夫されていたり、タカアシガニやオオグソクムシに触れたりすることもでき、とても頑張っている水族館だということがよくわかりました。

当初の目的は「ゆっくり生き物を見る」でしたが、利用者の皆さんは足早に通り過ぎてしまい、なかなか『ゆっくり』という訳にはいきませんでした。

それでもバスに乗り、いつもと違った場所を歩き、給食では食べない食事、おやつやおみやげを買ったり、いわゆる非日常を楽しんでいただけたのではないかと思います。

## ハロウィンです



10月31日のハロウィンメニューと食事風景です。厨房に入られたり、献立を検討してくださる委託業者ロハスの社員さんが魔女に扮してデザートを運んでくれました。